



2026年10月22日

各 位

会 社 名 株式会社 技研製作所
代表者名 代表取締役社長 CEO 大 平 厚
(コード番号 6289 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 専務執行役員 藤 崎 義 久
(TEL 088-846-2933)

取締役会の実効性評価の結果概要に関するお知らせ

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値を向上させることを目的として、取締役会の実効性に関するアンケートを実施いたしました。その回答内容を踏まえ、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

対 象 者	取締役（社外取締役含む）8名、監査役（社外監査役含む）3名
対象期間	2026年8月期（2025年9月～2026年8月）
実施方法	アンケートおよびアンケート結果に基づくディスカッション
回答方法	適切性を評価する方式 評価の理由や改善等の意見を記載する自由記入欄設定
評価項目	取締役会の構成（人数、多様性 他） 取締役会の運営（開催頻度、審議時間 他） 取締役会の議題（議題の選定、提案時期 他） 取締役会を支える体制（情報提供、トレーニング 他）

2. 評価結果の概要

2026年8月期の実効性評価アンケートでは、すべての評価項目において、取締役・監査役より概ね適切であるとの回答があり、取締役会の実効性は有効に機能していると評価しております。

なお、今後取締役会の一層の機能向上を図るための検討課題として以下の意見もありました。

- ・海外事業の拡大を踏まえた経営幹部のさらなる多様性確保
- ・経営陣の報酬に関する議論の充実
- ・中長期的な経営課題や成長戦略に関する議論の充実

3. 2025年8月期課題に対する改善状況

取締役会構成員の多様性確保に向けた取組みとして、公認会計士資格を有する女性社外取締役を新たに選任しました。財務・会計分野における専門性の強化に加え、取締役会の多様性向上を図ることで、監督機能のさらなる充実に努めております。

また、経営幹部の選任理由および期待役割の明確化を進めるとともに、指名・報酬委員会による評価機能の充実に努めました。加えて、企業価値向上との連動制を高める観点から役員報酬制度の見直しや株式報酬制度のあり方について継続的な検討を行いました。

さらに、取締役会資料の早期提供に係る運用を継続するとともに、役員トレーニングや勉強会を実施し、取締役会を支える体制の強化を図っております。

4. 今後の取組課題

当社は、海外事業の拡大や新市場の創出を見据え、海外事業に関する知見や経験を有する人材を含めた経営体制のさらなる多様化について継続的に検討してまいります。

また、企業価値向上に資する適切なインセンティブ付与の観点から、経営陣の報酬制度に関する議論を一層深めるとともに、中長期的な経営課題や成長戦略に関する議論の充実に努めてまいります。

当社取締役会は、今後も取締役会の役割・責務を適切に果たすため、その実効性のさらなる向上に努めることで、コーポレート・ガバナンスの充実に努め、企業価値の持続的な向上を目指してまいります。

以上